

業務用

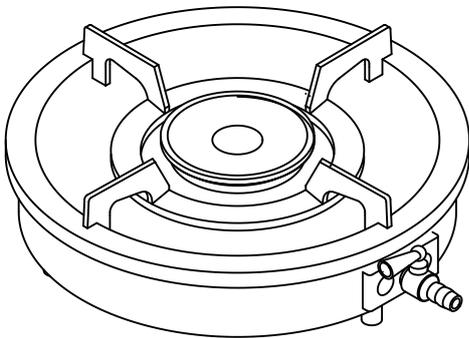
業務用ガスコンロ 丸型コンロ

品番 SK-33E

このたびは、丸型コンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目次

特に注意していただきたいこと	1～3
各部の名称と仕様	4～5
設置について	5～6
ご使用方法	6
日常の点検・お手入れ	7
故障・異常の見分け方と処置方法	8
長期間使用しない場合	8
廃棄するときは	8
アフターサービスについて	9



家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使い頂くためや、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



触手禁止



火気禁止



分解禁止



一般的な注意



高温注意



必ず行う



換気必要

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

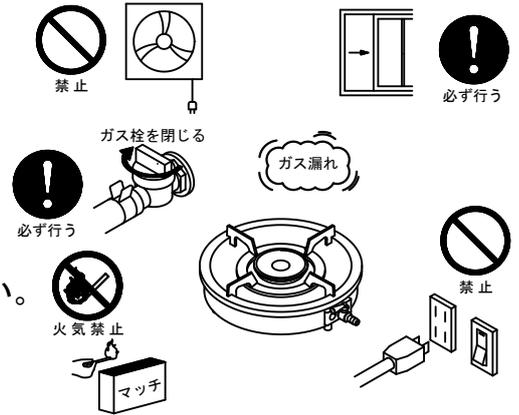
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じてください。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③ お買い上げの販売店またはガス業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（器具栓左側に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。
移設したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店、またはガス業者に連絡してください。

例：都市ガス12A，13Aの場合

品番：SK-33E
形式名：SK-33E
都市ガス12A，13A用
ガス消費量12A 2.21kW
13A 2.33kW
00.00-000000
山岡金属工業株式会社

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は器具栓ツマミが「閉」の位置で消火していることを確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また炎口が詰まったり消耗したバーナは、未点火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



■ 火災注意

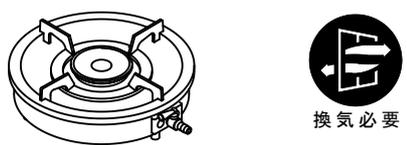
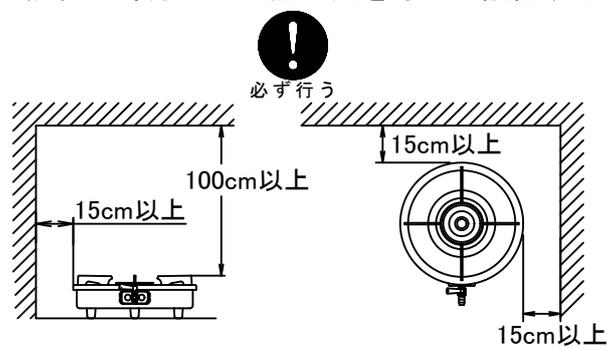
スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
器具の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

<p>■ 火災予防</p> <p>火をつけたまま離れない。</p>  <p>調理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因となります。</p>	<p>■ 火災予防</p> <p>機器の上や周囲には、可燃性（ペットボトル、調理油、新聞紙など）や引火性エアゾール缶など）のものを置かない。</p>  <p>焦げたり燃えたりして爆発や火災の原因となります。</p>
<p>■ 換気に注意</p> <p>窓を開けたり換気扇を回すなど換気をする。</p>  <p>不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。</p>	<p>■ 火災予防</p> <p>設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。</p> 
<p>■ 異常時の処置</p> <p>使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じられた場合や、地震・火災など緊急の場合は、ただちに使用を中止し、器具栓ツマミを閉じてガス栓を閉じて使用を中止する。</p> <p>故障・異常の見分け方と処置方法（8ページ）に従ってください。上記の処置をしてもなおらない場合は使用を中止しお買い上げの販売店に連絡してください。</p>  <p>必ず行う</p> <p>閉の状態</p> <p>ガス栓を閉じる</p> <p>器具栓ツマミ</p>	
<p>■ 使用上の注意</p> <p>ゴムの継ぎたし、及び二又分岐はしない。</p>  <p>ガス漏れの原因となります。</p>	<p>■ 使用上の注意</p> <p>使用中や使用直後は、高温部（ごとく・バーナ等）に触れない。</p>  <p>触手禁止</p> <p>機器本体とその周辺および調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合にはやけどに注意してください。</p>
<p>■ 改造・分解禁止</p> <p>絶対に改造・分解は行わない。</p> <p>改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。また火災の原因となります。</p>  <p>分解禁止</p>	

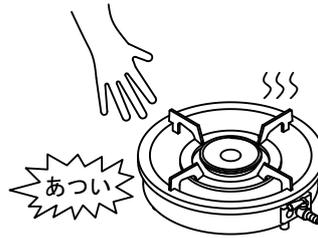
■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 注意

■ 使用上の注意

使用時は手や顔を近づけない。

使用中、機器は高温になっていますので、注意してください。



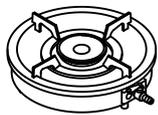
高温注意



禁止

■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。

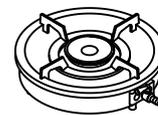


禁止

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。

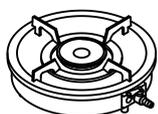


禁止

不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

衣類の乾燥などに使用しない。



禁止

衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

火がついたまま持ち運ばない。



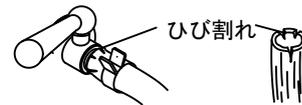
禁止

転倒すると火災、やけどの原因になります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。

古くなると、ひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。



禁止

■ 使用上の注意

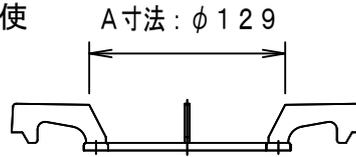
- ・補助具はこの料理器用の付属品以外は使用しないでください。
- ・使用中、使用直後はごとく・しる受け・バーナなどは高温になっておりますので手を触れないでください。
- ・なべをお使いになるときは、24cm以下のものをご使用ください。
- ・揚げ物調理には使用しないでください。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。

お願い

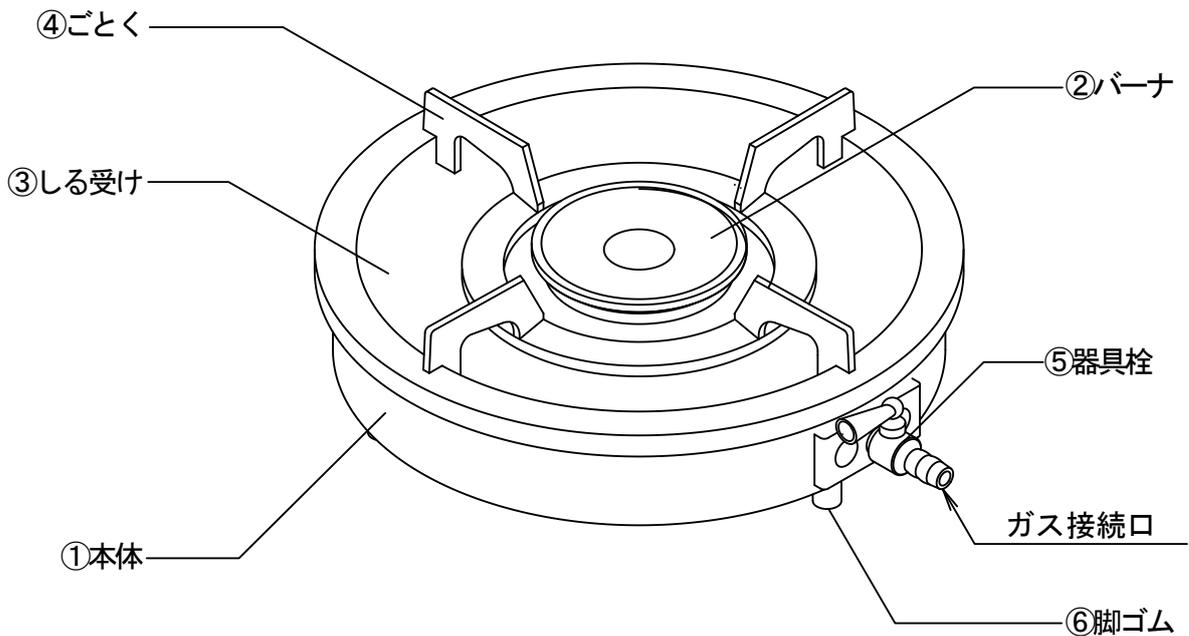
- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・使用後は消火を確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

■ 各部の名称と仕様

ご使用になる鍋の大きさについては、
ごとくのA寸法に合ったものをお使
いください。



A寸法：ごとく最小寸法



■ 付属品

No.	部品名称	数	はたらき
①	本 体	1	バーナ・しる受け・ごとくを受けている部品
②	バ ー ナ	1	ガスと空気を混合し、安定した炎を出す部品
③	し る 受 け	1	吹きこぼれた汁等を受ける部品
④	ご と く	1	調理する際に鍋等を受ける部品
⑤	器 具 栓	1	火力を調節する部品
⑥	脚 ゴ ム	3	器具を支えている部品

■ 消耗品

バーナ・しる受け・ごとく

■ 各部の名称と仕様

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	丸型コンロ
形 式 名	SK-33E
種 別	ガスこんろ
点 火 方 式	マッチ点火
空 気 調 節 器	固定式
寸 法	W249×D299.1×H86.5(mm)
質 量	1.0kg
ガ ス 接 続 口	9.5mmゴム管用ホースエンド
最 大 な べ 径	24cm

※ご使用になる鍋の大きさについては、ごとの最小寸法に合ったものをお使いください。詳細については4ページのA寸法をご覧ください。

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量
都 市 ガ ス	13A	2.33kW (2000kcal/h)
	12A	2.21kW (1900kcal/h)
L P ガ ス		1.95kW (0.14kg/h)

■ 設置について

■ 設置前の準備

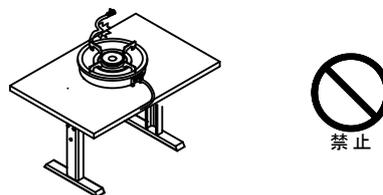
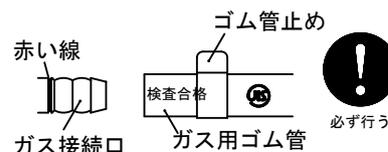
- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認してください。ごとは本体の中に入っています。
- ・ 本体の上にする受け・ごとの順番に傾かないように正しく載せてください。特にごとは4ページ「各部の名称」のイラストを見て、表・裏を間違わないように載せてください。

■ 設置時の注意

・ ゴム管の接続

ゴム管はガス用ゴム管を用い、ガス接続口の赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

ガス用ゴム管は高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして使用する。また、ガス用ゴム管は機器の下を通したりしないようにして使用する。また、他の機器で加熱されるような所にも通さない。



■ 設置について

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。



禁止

- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。



禁止

- ・ 安定のよい丈夫で水平な台の上に設置して下さい。不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがをすることがあります。



禁止

- ・ 器具に風をあてない。扇風機やエアコンなどの風が当たると点火不良や途中失火、器具内部の損焼の原因になります。



禁止

■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 器具栓つまみが「閉」の位置にあることを確かめてからガス栓を開けてください。

■ 操作のしかた

- ① マッチに点火してバーナに近づけてから器具栓つまみをしずかに反時計方向にまわすと点火します。初めての点火の時は、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合2～3回点火操作を繰り返してください。
- ② ガス量の調節は器具栓つまみを反時計方向にまわすと大きくなり、時計方向にまわすと小さくなります。
- ③ 器具栓つまみを時計方向にいっぱいまでまわすと消火します。
※火力は無段階で調節できますが、「閉」の位置近くになると立消えする場合がありますのでガス量をしばる場合は目で炎を確認しながら操作してください。

■ 空気調節

- ・ 当器具の空気調節は固定式ですので操作する必要はありません。



良好燃焼

内炎が青い色で先がはっきり見える。

■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、器具栓つまみを「閉」の位置にし、ガス栓を閉じておいてください。停電復旧後は、通常の点火操作を行ってください。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

■ 点検・お手入れの際のご注意

 警告	 注意
	
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない 分解禁止 火災・ガス漏れのおそれがあります。	機器を水をつけたり、機器に水をかけたりしない 不完全燃焼・故障の原因になります。

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店又はガス事業者にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認してください。

■ お手入れ

使って良いもの	●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジ・ナイロンたわし ●シュロブラシ等のやわらかいブラシ
使ってはいけないもの	●酸性・アルカリ性の洗剤 ●アルコール・シンナー・ベンジン ●クレンザー（みがき粉） ●金属たわし・ナイロンたわし・金属ヘラ

- ・ 本体は、手袋を着用して濡れぶきんでよく拭いてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませて拭き取り、お手入れした後、乾いた布で十分水気をとってください。
- ・ ガスを有効にお使い頂くためにもバーナのお手入れが大切です。バーナの炎が不揃いになったときは、炎口が煮じるなどで詰まっていますのでキリか針金などで掃除してください。

お願い

- お手入れした部品は、正しく取り付けられているか確認してください。（4ページ参照）
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときには、柔らかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。
- 変形、破損した場合は、その部品をお買い求めください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象									処置方法	
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない		使用中に炎が消える
ガスゴム管接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする
ガス栓の開きが不十分		○	○								ガス栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○			○		○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
器具栓ツマミの開き不足		○	○					○		○	器具栓ツマミを一度「閉」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける

ご使用の際に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは、上記の処置を行いそれでも直らないときは、ただちにご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガス栓を閉じて保管してください。

■ 廃棄するときは

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に8ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 品番・製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・ 移設によってガスの種類が変わる場合があり、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず当社か買い上げの販売店または転居先のガス事業者にご連絡ください。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（4ページ参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この業務用丸型コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ 業務用丸型コンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。